生きものたちの行動は
わたしたちにたくさんのことを教えてくれる。

自然の調査員、
ウミガメやクジラたちに
海の環境を教えてもらおう！

ウミガメのフンの
観察もできるよ！

藤前干潟サイエンスカフェ

動物目線で探る海の環境

日　時　2022年2月26日（土）
13：30〜15：00（開場：13：15）

会　場　名古屋市環境学習センター　エコパルなごや(伏見ライフプラザ13階)
伏見駅6番出口より徒歩7分

講　師　檜﨑(ならざき)　友子(ともこ)　氏（名城大学農学部生物環境科学科 助教）

参加費　無料
対　象　どなたでも　先着50名
主　催　藤前干潟ふれあい事業実行委員会
協　力　イオンスタイル名古屋茶屋店

申　込　1月12日（水）より受付開始
電話、メール、FAXにて下記の①〜③をお伝えください。
① 参加者氏名 ② 日中連絡の取れる電話番号 ③ メールアドレス

申込先　藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局
〒460-0008　名古屋市中区栄1-23-13　伏見ライフプラザ13階
TEL：052-223-1067　FAX：052-223-4199　Eメール：ecopal@n-kd.jp

藤前干潟ふれあい事業 みて！ふれて！かんじる！

Plastics Smart

instructor

講　師：楢﨑（ならざき）　友子（ともこ）氏

名城大学農学部生物環境科学科　助教。
1979年生まれ。
ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）理学部卒業。
東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、博士（環境学）。
日本学術振興会特別研究員などを経て、2021年4月より現職。
三陸沿岸域や小笠原、北極海など国内外の様々なフィールドでウミガメ類や鯨類を対象としたバイオロギング研究を実施している。

message

藤前干潟サイエンスカフェ に寄せて

大海原を大回遊しながら成長するウミガメ、何度も深い海に潜って餌を食べるクジラ。追いかけて観察することが難しい彼らの未知なる生態や行動を探るため、「バイオロギング」という動物装着型記録計を使った研究が発展してきました。また最近では、私たち人間がアクセスしにくい場所の環境観測の手段としても大きく注目されています。

本講演では海洋動物の行動研究の成果を動物目線の映像を交えながらご紹介するとともに、バイオロギングによる環境観測の最新の研究についてお話ししたいと思います。

Key word

バイオロギング *Bio-logging* とは？

バイオ（生きもの）＋ ロギング（記録をとる）

動物の行動を動物自身に
記録してもらおう！

ラムサール条約20th

藤前干潟は2022年11月18日でラムサール条約登録20周年！

藤前干潟ふれあい事業では、YouTubeやウェブサイトで藤前干潟のイベントやさまざまな情報、コンテンツをアップしています。
ぜひチェックしてみてね♪

YouTube はこちら！

ウェブサイト はこちら！